



MARUHA

株式会社マルハグループ本社 広報・IRグループ

Investor Relations & Public Relations Group, MARUHA GROUP INC.

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-② Tel. 03 (3216) 0821 Fax. 03 (3216) 0342

NEWS LETTER ニュースレター

2007年4月5日

大連遠洋マルハ食品有限公司開業式典実施のお知らせ

マルハ株式会社（本社：東京都千代田区 五十嵐 勇二 社長）は、関係会社である大連遠洋マルハ食品有限公司（本社：中国大連市 張 祖剛 総経理）の開業式典を行ないましたのでお知らせいたします。

1. 式典概要

日時：2007年3月28日 9：00より

場所：遼漁集団本社ビル1階会議室

※当初大連遠洋マルハ食品工場敷地内で予定しておりましたが、雨天により急遽会議室をお借りしての式典となりました

出席者：五十嵐社長、青木常務、宮部常務、安部取締役アジア事業部長、
長瀬食品第一部長（以上マルハ及びマルハグループ本社）
張董事長、許総経理他7名（以上遼寧省大連海洋漁業集团公司）

来賓：劉副省长（遼寧劉副省长（遼寧省人民政府）、干副局长（大連対外貿易局）、
李副局长（大連海洋漁業局）他多数

来場者数：約130名

2. マルハグループ本社社長五十嵐勇二 挨拶抜粋

- ・マルハと大連海洋漁業集团公司との友好の歴史は既に30年にも及びます。中国水産業界最大手の大連海洋漁業集团公司ではカニ、たらこ、シシャモなどの水産物加工をお願いしており、いまや弊社の中国での加工拠点として、なくてはならない存在です。
- ・その意味からも中国国内で市販食品を製造する合弁会社を新たに立ち上げることができたのは、最大の喜びであります。この新会社が、私どもマルハと大連海洋漁業集团公司との友好の証として将来にわたり、発展と成長を遂げることを私は確信しております。
- ・昨年の合弁契約の締結以降、私どもは全力を注いでこの新会社の設立に努力してまいりました。工場のレイアウトや製造ノウハウ、並びに品質管理手法などはマルハが、原料調達やマーケット戦略は大連海洋漁業集团公司が、それぞれ協力し、日中双方が持てる全ての英知を注いで工場建設を進めてきました。
- ・今回われわれは、「中国で生産して日本で販売する」という今までの一般的な合弁形態ではなく、「中国で製造して中国のお客様へ販売する」という新たな試みを始めます。
- ・マルハの水産加工食品の歴史は、そのまま日本の食文化の歴史でもあると自負しております。
- ・大連海洋漁業集团公司が得意とする最高の原料調達手法、及び中国市場への販売戦略を組み合わせ、中国のお客様へ「安心と安全」を製品に込めてお届けしたいと考えております。
- ・昨年12月には、私どもマルハは㈱ニチロとの経営統合を発表し、新しい企業グループを構築することを決意しました。その意味からもこの新会社の存在は極めて重要であります。中国国内にマルハ伝統の味である缶詰とレトルト食品を流通させ、マルハグループのグローバル戦略の一部としていきたいと考えております。

3. 合弁会社の概要

社名	大連遠洋マルハ食品有限会社	
資本金	約3億円	
出資比率	大連海洋漁業集团公司	51%
	マルハ株式会社	49%

住 所	中国遼寧省大連市甘井子区大連湾
主たる事業	缶詰・レトルト食品の生産および販売
主要生産品目	水産缶詰、レトルト食品
ブランド	「遠洋・マルハ」
販売計画	缶詰、レトルト食品 10億円（初年度3億円）
販売先	中国国内 上海・北京・大連 輸出 オーストラリア・ニュージーランドなど

4. 合弁の相手

社 名	遼寧省大連海洋漁業集团公司
設 立	1945年
資 本 金	589百万元（約88億円）
代 表 者	董事長 張 毅
主たる事業	漁撈および水産加工業
売 上 高	1,518百万元（約228億円）

<式典出席のマルハ（マルハG本社）役員>



※写真左から安部取締役、青木常務、五十嵐社長、宮部常務、長瀬部長

<中国国内で販売する加工食品>



以上

報道各位からのお問い合わせ先
 (株)マルハグループ 本社 広報・IR グループ
 Tel:03-3216-0821 Fax:03-3216-0342